

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 水疱性類天疱瘡の病態解明を目指した多施設共同研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 泉 健太郎（皮膚科・講師）

[共同研究機関と研究責任者]

慶応義塾大学病院	山上 淳	専任講師
川崎医科大学付属病院	青山裕美	教授
札幌厚生病院	紅粉睦男	主任部長
レスター大学病院	Karen Harman	医師
フライブルグ大学病院	Dimitra Kiritsi	医師
愛媛大学付属病院	佐山浩二	教授
大垣市民病院	川口頌平	医師
東京歯科大学市川総合病院	三邊 正樹	医師
大分大学医学部附属病院	波多野 豊	教授
杏林大学医学部付属病院	大山 学	教授
横浜市立大学附属病院	乙竹 泰	医師
山形市立病院済生館	角田孝彦	医師
高知大学医学部附属病院	佐野栄紀	教授
マヒドン大学医学部ラマティボディ病院	Kumutnart Chanprapaph	医師
横浜市立大学附属市民総合医療センター	金岡美和	医師
リューベック大学皮膚科学研究室	Ralf Ludwig	医師
国立成功大学皮膚科	Chao-kai Hsu	准教授

[共同研究施設] 株式会社札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー

篠塚 直樹 課長

<住 所> 〒001-0922 北海道札幌市北区新川2条2丁目12-20

<連絡先> 011-762-3610

<担 当> 本院から提供した抗原タンパクを用いた検査キットの作製

[研究の目的] 水疱性類天疱瘡の発症機序を解明すること

[研究の方法]

○対象となる患者さん

水疱性類天疱瘡の患者さんで、平成 15 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日の間に、水疱性類天疱瘡の診断目的等で皮膚生検あるいは採血を受け、研究目的での検体の保管に同意された方

2023 年 3 月 14 日

○利用する検体・カルテ情報

検体：皮膚組織検体および凍結保存血清（診断目的で採取し検査を終了した残余分）
カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、家族歴、既往歴、診断名、治療内容、臨床所見、臨床写真、病変の面積、血液検査結果

上記の検体・カルテ情報を郵送にて北海道大学病院に収集します。検査キットの作製のため、北海道大学病院から共同研究施設へ抗原タンパクを郵送にて提供します。共同研究施設へ上記の検体・カルテ情報を提供することはありません。

[研究実施期間]

実施許可日～2028 年 3 月 31 日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体および情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

横浜市南区浦舟 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター・皮膚科

担当医師 金岡 美和

電話 045-261-5656